

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		下水道特別会計繰出金支出事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連					
総合 計画 体系	政策	2	みどり豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	都市建設部	課長名 辻 賢一郎					
	施策	10	水環境の保全			所属課	都市計画課	担当者名 原田 和彦					
	基本事業	28	水質の浄化			所属班	都市計画班	(内線) 2246					
予算科目	会計	1	款	8	項	4	目	4	事業連番	10174	法令根拠	成果優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)		期間限定複数年度 (～		年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市水道局上下水道課の請求に伴い、繰出金の支出事務を行う 昭和50年代に公共下水道事業に着手したことによる 目立った変化は無い
【業務の流れ】	請求書受領、支出負担行為兼支出命令書を起票する
【主な予算費目】	繰出金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	議会の常任委員会のときに「なぜ都市計画課で予算を組まなければならないのか」と問われたことがある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO) 請求書受領、支出負担行為兼支出命令書の起票	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 請求書受領、支出負担行為兼支出命令書の起票
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ ア 繰出金の支出	(単位) 件 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 下水道特別会計繰出金	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 ⇒ ア 繰出金の支出 (単位) 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 公共下水道事業や農業集落排水事業の運営のため、一般会計から特別会計への繰出金の支出を行う。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 ⇒ ア 繰出金の額 (単位) 千円
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 繰出金が確実に支出されたことを確認する	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	件	3	5	3	6	3	3	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	件	3	5	3	6	3	3	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	千円	808403	776289	731359	770168	685188		
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	808,403	776,289	731,359	770,168	685,188	
	(A) 事業費計	千円	808,403	776,289	731,359	770,168	685,188	0	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	1	1	1	4	1	1	
	(B)人件費計	千円	4	4	4	16	4	4	
トータルコスト(A)+(B)		千円	808,407	776,293	731,363	770,184	685,192	4	0

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

0

0

合志市

事務事業名	下水道特別会計繰出金支出事務	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 事務事業の内容は繰出金の支出のみであるため成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 公共下水道事業や農業集落排水事業の運営内容による。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 下水道事業に関しては受益者負担がされており公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 公共下水道と農業集落排水事業は、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資するために県又は市で運営している。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

下水道特別会計、農業集落排水特別会計への繰出し金の支出事務を行った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 予算要求、差し引き、決算などを都市計画課で行わず、他の繰出金支出事務と統合してより効率性を求めることは可能と考える。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○		低下			
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○																		
低下																				
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 解決すべき課題は特に無い。																				